

## 上清水町会とのタウンミーティング

日 時 令和6年8月25日（日）11:00～12:00

会 場 上清水町公民館

参加人数 約60人

### 1) 開会

### 2) 上清水町会長 挨拶

### 3) 市長 市政報告

○はじめに

・根上総合文化会館の芝生広場で能登地区の復旧・復興を祈念して、輪島市の白米千枚田の「あぜのきらめき」で使用している「ペットボトル」約25,000本を借り受け、イルミネーションを行っている。太陽光によるLED発光装置であり、日没とともに約4時間、4色に色を変えながら点灯する。市民一丸となって能登の復興・復旧を念じている。

○令和6年能登半島地震

・能美市内では震度5強が観測され、約1,500軒のご自宅で被害が出たと罹災証明書の申請が出されている。市内での特に大きな被害としては、緑が丘ののり面崩落による道路陥没が上げられる。このほか、美化センターののり面崩落、神社の燈籠や石碑の倒壊、九谷焼美術館での九谷焼破損等の被害が出ている。上下水道管にも大きな被害が出て、マンホールの周辺が陥没しているところが多くあった。現在も復興・復旧に努めている。

・ワンストップ窓口を設置し、市民の皆さんが1か所で様々な手続きを行えるように体制

を整えた。

・能登への支援にも取り組んでおり、保健師や職員の人材派遣、消防車、救急車、給水車、パッカー車の車両派遣も行った。市民の皆さんから集まった物資を能登へお届けするとともに、市内の温泉、ホテル、辰口福祉会館で二次避難所を開設した。また、市営住宅や借り上げた市内のアパートに住まわれたり、友人や知人の家に身を寄せられた方もいらっしゃったりして、一番多いときで約300名の方が避難をされていた。ご要望をお聞きするため、サポート窓口の開設をし、避難された方の様々なニーズに対応してきた。

#### ○防災減災対策

・能登半島地震の被害を受け、災害備蓄品の見直しを行い、簡易トイレの袋と使い捨ての哺乳瓶の備蓄数を約2倍に増やした。

・2年前の8月4日に大雨が降り、鍋谷川や西川が溢水をし、辰口温泉等に大きな被害が出た。現在、鍋谷川、館谷川の川幅を広げるとともに、堆積土砂の除去を進めている。また、西川、熊田川は手取川の下流部に注いでいるが、手取川の水が増えた場合、水が西川、熊田川に戻ってくる、「バックウオーター現象」が起きる。これを防ぐために、樋門を造って、水が逆流しないようにするとともに、貯水池を整備する。同じような雨が降っても二度と同じような被害に見舞われないように対策を講じている。

・手取川宮竹用水にご協力をいただき、大雨警報が出た場合に、手取川から水を取らないようにして、宮竹用水を宮竹排水として使えるようにした。これによって、市内に降った雨を手取川又は梯川に流すことができ、大きな被害が出ないようにしている。

・避難所等を示した紙のハザードマップを各ご家庭に配付しているが、避難時にはスマートフォンを持って逃げられる方がほとんどだと思うので、スマートフォンで避難所等を確認できるように電子データにしようとして取り組んでいる。

・これまでは防災行政無線を使って、大雨や避難のお知らせ等を行ってきたが、いつでもどこでも情報を受け取れるようLINEやNomimailを導入した。災害情報だけでなく、生活に必要な情報や能美市の魅力的な情報も見ることができるので、ぜひ友達追加していただきたい。

#### ○能美市を取り巻く情勢と課題

・公共施設が老朽化しており、市内に11の小中学校があるが、面積比で築50年以上が30%

を占める。どう長寿命化するかに今取り組んでいる。

・事業・施策の方針に7本柱があり、毎年5つの方針・目的を設定し、そのすべてが移住定住の促進につながるようにしている。私は自治体の勢いを示す数値は人口だと思っている。人口増には自然増と社会増があり、今、能美市は社会増ではあるが、自然減となっている。総体的に足し引きすると、残念だが人口が少し減っているような状態が続いている。それを何とかするため様々な取り組みを行っている。

・幸福度や暮らしやすさ等を市民に調査したウェルビーイング指標によると、能美市の強みは「住宅環境」や「子育て」、「自然の恵み」であり、弱みは「買い物・飲食」「遊び・娯楽」「移動・交通」であった。しかし「遊び・娯楽」では、市内には、手取フィッシュランド、アドベンチャーガーデン能美、松井秀喜ベースボールミュージアム、九谷陶芸村、辰口丘陵公園等があり、かなり遊ぶ場所は揃っているのではないかと思う。「買い物・飲食」についても、スーパーだけでなく、最近ドラッグストアが増えてきている。ただ、皆さんのお声を聞くと、能美市にないお店を求められているのではないかと思う。辰口フラワーハウス跡地に道の駅機能を持った施設を造れないか検討している。

・企業誘致が大変好調である。企業誘致が進むと、働く場所が増え、人口も増える。また、税収も豊かになる。令和元年に市税の収入が初めて90億円を超え、令和4年に最高となった。サイエンスパークや市内にある空き家、空地等を活用しながら、それぞれの町の人口も増やし、にぎわい創出をしていきたいと取り組んでいる。

#### ○デジタル田園都市国家構想

・最近特に力を入れていることの一つに、様々なデジタル技術の導入をして、市民の皆さんの安全・安心、快適を守っていく取り組みが挙げられる。能美市では3年連続、デジタル田園都市国家構想交付金の採択をいただいて、デジタル化に取り組んでいる。

・その取り組みの一つにデジタル公民館がある。市内82か所の公民館に整備したWi-Fiを活用して、公民館で多世代間交流を促進させようと考えている。例えば高齢者の場合は、いきいきサロンやスマホ教室を、子育て世代の人たちはeスポーツを、子どもたちは学校から持ち帰ったChrome bookを使って勉強をするために公民館に集まる。そして、子どもたちが、勉強でわからないことを高齢者や子育て世代の方に教えてもらったり、高齢者の方がスマホの使い方を子どもに聞いたりというような交流を公民館でできないかと進めている。

・公民館は避難所になることが多いので、マイナンバーカードによる避難所受付を行おうと進めている。また、監視カメラを設置し、子どもたちが通ったかどうかや、公民館の付近の川がどれだけ増水しているか等をチェックできるようにしたいと考えている。

・公民館でオンライン診療も行おうとしている。例えば高血圧や糖尿病の場合、毎月1回かかりつけ医に行って診察を受けて薬をもらう必要がある。それを公民館でオンライン診療を受けることによって、病院や薬局に行かなくても薬をもらえるようにしようとしている。ただ、これには様々な課題があったり、設備投資も必要だったりするので、今、市内の5か所を選定し、そこで検証をしながら、他にも広げていきたいと考えている。

・自宅での生活をもっと便利にしていこうと、福祉見守りあんしんマップのデジタル化を行っている。一人暮らしの高齢者を対象に、今まで民生委員・児童委員やケアマネージャー等が毎年、秋頃に訪問して、服薬状況や病状をチェックして紙で情報更新していたが、それを電子カルテ化し、必要な情報を必要なときに取り出せるようにしている。

・IoT家電を使った見守りにも取り組んでいる。空気清浄機やエアコン等により、室内環境をリアルタイムで把握することができ、もしもの際には、家族やケアマネージャーに通知される仕組みとなっている。また、将来的にはIoT家電が、気象警報や能美市からの避難指示等も知らせるようにしようとしている。

・東日本大震災のときに多くのカルテが流され、診療情報がわからなくなってしまうということが発生して、電子カルテ化が広まった。石川県では、既に電子カルテ化が始まっており、今回の能登半島地震の時に役立った。能美市内の病院やクリニックでも、全部同じ電子カルテにして、平時だけではなく災害時でも、しっかり医療を受けられるようにしようとして取り組んでいる。

・地域通貨を導入して、便利にしていこうと計画している。例えば、これまで広報に入れたり、郵送したりしていた「のみ応援特典券」を電子マネーで皆さんに配付させていただき、使ってもらえるようにしようと考えている。

・タクシー運転手など二種免許を持っている人がだんだん少なくなって、移動に不便だという声が大都市圏を中心に広まったため、全国でライドシェアが広がっている。ウェルビーイング指標の弱みで、「移動・交通」が挙げられており、能美市でもライドシェアの取り組みができないかと考えている。ただ、車種や運転手等、多くの課題があり、しっかりと皆さんのご要望に応えられるような形で行いたい。

○能美市を取り巻く情勢と課題（将来に向けて）

・北陸新幹線が敦賀駅開業をしたが、敦賀駅で乗り換えるのが大変不便とのお声をいただいております。一日も早く太平洋側につながるよう働きかけていきたいと考えています。また、能美市内には、新幹線は通れど駅がないので、小松駅で「となりは能美市」という看板を作って、宣伝しています。ぜひ見ていただければと思います。

・来年の2月1日には、いよいよ能美市が誕生して20周年を迎える。20周年の記念式典や、市民の皆さんとともに何か笑顔になれるような、楽しんでいただけるような事業を目白押しで行いたいと思っているので、良いアイデアがあればおっしゃっていただきたい。

#### 4) 質疑応答、意見交換

質問・意見1

【参加者】マイナンバーカードの普及率が上がらないのは、マイナンバーカードによって被害に遭われた方の保障がないことが原因だと思う。被害にあわれる方は0.何%程度のはずなので、市の財政的にできるのではないかな。

【井出市長】マイナンバーカードは国の制度なので、そういったご意見があることは国に伝えていきたいと思う。今後、保険証や運転免許証がマイナンバーカードになるということで、何枚もカードを持つことの不便さが解消される。また、マイナンバーカードを持つことで何かお得感が出るようにならないか国に伝えていくので、ぜひマイナンバーカードをご利用いただきたい。

質問・意見2

【参加者】上清水では所帯出が増えているが、宅地化するために農振除外ができない。適応拡大や手続きの簡素化ができないか。上清水も空洞化が始まっており、空き地や空き家に住んでほしいと思っても、若い所帯出の人は南や外に出たがる。

【井出市長】農地にするために、区分けを行う、畔を作る、水を提供する等々、様々な投資が行われている。また、このあたりの田んぼは手取川宮竹用水を使っていて、その維持

費用や白山頭首口の整備費用等を田んぼの所有者にも負担してもらっており、田んぼの所有者が少なくなると、負担額が高くなる。日本の食糧自給率を維持していくために、農地を守っていかなければならないということから、なかなか農地を宅地や工業用地にすることが難しい。ただ、地域のコミュニティを守るために、どこか宅地化できないかということとは検討していきたい。

#### 質問・意見3

【参加者】毎朝、見守り隊をしている。最近暑く、7時を過ぎると30℃を超える。冬場はスクールバスを出してもらっているが、夏もせめて夏休みの前後1か月の間、上清水・下清水・高座にバスを出してもらえないか。

【井出市長】他の小学校に通う保護者や町会・町内会からも同じようなお声をたくさんいただいている、検討をしている。事情をいうと、朝送ることは可能かと思うが、夕方子どもが帰る時間がバラバラなので、そこをどうするかが問題である。それに加えて、放課後児童クラブや塾に行く子もいて、どうやって皆さんを安全・安心に集合場所まで戻せるかを検討している。もう少しお時間をいただきたい。

#### 質問・意見4

【参加者】スクールバスにのみバスを利用できないのか

【井出市長】検討しているが、のみバスは29人しか乗ることができない。朝、満車になったり、帰りも何人乗るかわからなかったりするので難しい。

#### 質問・意見5

【参加者】中央小学校玄関から正門に向かって子どもたちが坂を下りてくると、左側が見えづらい。子どもたちは坂から降りてきて、そのまま直前で横断歩道をわたるので自動車の運転時に見えにくく危険である。

【井出市長】歩道の新設や道路の拡幅を予定している。また、ましじ広場の整備も進め、児童の登下校時に発生する送迎車両が路上に駐停車する状況を解消する等、子どもたちが

安全に通えるようにしていく。

#### 質問・意見6

【参加者】上清水の方から行くと、上開発側にわたる部分に信号がない。逆の方にはある。大きな信号を見て渡らないといけない。それも古くなっているので、色がわかりにくい。

【井出市長】確認しておく。警察にも話がいているとのことなので、市からも伝える。

#### 質問・意見7

【参加者】辰口郵便局手前の中学校の方向へ曲がった田んぼの部分に街灯がなく、曲がった途端にある歩道が見えづらい。街灯をつけてほしい。

【井出市長】確認しておく。

#### 質問・意見8

【参加者】東レの西側は歩道があるが、北側（出口へ向かう方向）には宮竹用水が走っていて、歩道がない。ダンプカーがよく通る道であり、過去には事故もあった。歩道をつけてほしい。

【井出市長】担当課に伝えておく。

## 5) 閉会